密なる協力機能をとい、又直 る研究に関しては関係方面と

技術研究機関の総合的活動機制を 風の一環として文部省所管の科學

の観光研究後親および研究者を計「の機相を選化しつつあるは申すま」

現在の戦局が日本して科學職だる

岡部文相談

砂理することが無路である せるためには生産の増張を励ると

ある、而してこの科製研究の中後 戦力増展の目的が達せられるので

南太平洋空の暖り我が高射砲隊勇士(鬚鬚蟾蘭素)=電器

船擊洗破四十四隻、飛行機は來

以後に比肩し得る或な近れを数 してゐる。臺葉の精強に加へる

度事業の意連携がど重點を置いて

となってゐる

進め原案作成中であるが、これが

魔壇高紫斑栗戦の魅円施石につい「成、波揚波伽の代質を聴物意頼を「機ん、塵紫皮練治系悲動の御前示す七日の脳縁で決定した第二次賞」と概め合せ、崖湖高揚げ、湘湿道「鹿苗の健保害及、東窓傍帰前員の

食糧増産案の決定近し

◆中间高州氏 (朝熊興業意世常務

取補役)新圧接拶のため廿日本

機未だ歸還せず、一機のうち四機を撃墜した、上敷を所を爆撃、敵戦闘機十一機のうち四機を撃墜した、

既定計畫擴充强化

大型驅逐艦二隻擊破炎上、

驅逐艦二隻に至近彈、

として東航道定したのであった

本府辭令(十]旦 郡縣宗面長 盛田

わが方 陸

大学 は 100 日本 10

の

春話

**送價**B -6 -六 ○判

抵抗を撃碎しつ、これを爆撃して左の戦果を撃げた

帝國海軍部等部隊は劉密男敦なる撃敗債器に基主要大出切し同島への兵力場陸海治に思ってる強を軍 地點ピロア附近一帶の敵部隊を急襲し、必死に喰ひ下る敵戦闘機の

十八日晝間及び夜間また~前後五回にわたり敵場陸

【魔太平洋〇〇基地は日同盟】八月十五日朝ソロモン群島ベララベラ島方面に数縁至沿順出頭以来

ベララベラ島連襲

源なる遊戯措置に對し護大な客乗が全部際に通達され郷後のわが迅

同題の高らした警報は直ちに我

陸軍 報道 部推派 (現下必議の) 陸軍 報道 部推派 (現下必議の)

(現下必讀の書)

點の復騰により、その企園發見意

菱

語述

**∏**B ∵6 OH)

9階級の書。 一部財保く 登場を引揚を明したる思察

をなしたと同時に米機動部隊な同

られたりと見るや無滅本上機械の

れしつくあったが、

では日下臨林島に於て総葛飯部を 変施する方針で、今選由に名道よ。 変等、第二次戦略返過の各際

りの資料を取締め、原案作成の上

糖の整備、地方第一線行政隊の理断定計畫の整備を与い特に要際歴

金融 至海公鄉 公安期 ◇西福路泊民(京城安總灣無

かつき」で断馬

良事業を変施して來てゐるので、

は、内地では土地改良による東佐 次に裏作の 機服改良に ついて

あるものの、朝鮮では既に上地政

ともに科展研究の総力を最高度に

工場事業三番用令書令憲式を

中等競窩近長後用に関する当

國家總動員法第四條の『國家 勝気ならしめるものであるとな ものであり、社長後用の意味を

國民の敵用の根據法である

なるの自身に液し半先重和 の全費任を負荷せられたるもの 説理第三條により「生配遂行 かくして西徹社長は腰衛士服

神な生れず、從つて國家の

てゐたのでは此内一家の大和糖 吹かして安心価子に受りかへつ

極するところ陣頭指揮者とる此 する環境は深されない。生産

さその人にあることは意多の事

知道のと透明人に一大無害を 撃滅に逐奏さよと強調した。

羆の根本は人にある。しかも

なが欲しければ動けると貼紙し

日公布物令)應做上服務規律

吸船は十九日首相官舎に管理

說社

耐長徴用に國民皆働

でし、全國各地方の徽用勞務者

前の國民戦用令第二條は一

で高する民間殺用實施工場社長

敞用令事を交付し、

郡久社長

の事由ある場合の外國民職

第二条を『帝國臣民をして、

な。瀬民が用令の牧正(七月廿

社の金長等を機用し」と社長機

高級決定中に於いて「株

場合に限り」後用を行ふことを

規定して居り、これにより批算

工量が微用工量として

事業一家精神の関語の下勝致く

みる在を願みず機の來る数反文

局を差滅し、原形の一公式の医者 壁の精弾を確し、公人の語つて

は銃後我々の政務である。 得るやうにせねばならぬ。それ て思ふ存分に效必減戦を繊維し

で既成魔地の改良による増産強行を洗を離れば成が限が監に選したの

町步、新七十萬田步及比較的容易 によって裏作可能なるもの十五度 町ち 今回の第二次 方乗は、内地 | 職室なる階深赤水施設を行ふごと

の頭化機元を行ふものと見られる

反攻を開始してより八月十五日 六月來年がレンドバ第に上陸

あるあつゆる初や力を強を示動一前で来てゐるので、既正方針に往

最初から上山以民を基地とする建 へ時に合う つのできるが、明鮮は

配分を行ひ、極力裏作の擴大につ

る研究力を最高度に集中発用せし 製たの他の科展研究機関におけ

整備機形をはかると氏に科壓研究

での飛躍的間上をはかり戦力の

鼠争の遂行を唯一絶對の目標

御研究會議を選化活用して

談話を登妻、科學配力増殖の緊急・ 要請たる全科學研究機構の綜合動

てゐるに動し、われにおいても敵 科麗力を動員し必死の反攻を企了 第機関における科展研究な1

**傘下機關總動員** 文相談

整備の必要あり、よってこれ

整備方策要領 科學研究の緊急

學での他科學所統機關の内容およ

で、これを最高度に集中整理をしめてその飛躍所上をはめり載力の

科學研究會議を强化

われにおいてもされた打ち勝ら徹底的に敵を屈伏せしむるためには 三語の地理をはかると、もに料型研究の部力を販事遂行の一點に激

の機相を選化しつへあり、極下ががその機器なる最的物質力を背景

爾來文部省では企養院子の他の關係各職との緊密なる連例完徽關による科學研究器最方数の用意める国書明注目

断究機關を動員しこれに應する體

廿日午後三時海煙後より公表された

が作職に勤し護大なる密理をなし、山木鳴倉艦線引令是官よう楽ある。必ずを担合れたが、心のほど関くも句の種上観に産せられた画

生ませたにしてその伝統を達成、

後の別なく哨戒任務に服しつくめ 本上空襲を担ふ敵深英書戒のため

東京整部】庇護眈々として我が

るとこれに敷の猛烈なる境中変響を受けつつも別々変更なる敵情を運輸し施長以下全員近上

【東京電路】昨年四月十八日長が特談能制施第〇〇丸は敵米國の投作木工部襲部隊を強く太平洋上において金見、その第一編を

第の**緊急整備方叛要職員を附護正式決定を見たので午後四階**文部省

より大国戦と人もに左のごとく塾表された

「小点報話」 天皇陛下となる

- 2000

感

特設監視艇

別なる文献を聞いて聞いる文に開発し、その変後に引る区別知道切 心を構造し、機を失える敵機差見の報告を發するこ共に關後敵の執

幾作職に審異せる所強めて大にしてその功一

行中の航空部艦二隻とこれを車備入日午前六時半頃西方に同けて鉄

の任務に置ってゐたか昨年四月十

教情派報に終始し洋上の一

歌 育 曾 图 內 大日本工業學會出版部

大振 一八年 〇年

いては一語も関れず只質複微動

とよって勝然としてゐる、報告が

もつて綴られた数々の報告配

証券したかは敵の集中攻撃下

離第〇〇丸は北方哨戒部隊に離

国民くも上限に選した、

これを報告して我が作敬に憲

(產動不產動) 險保

出來なかつた、然し既長以下会

したが遂にこれを發見することが

呈 進 録 目 書 科 教 東年明 (スマン呈進モ歌用 喜報通)

ののう数日に良り附近海面を現象

同版の連絡が絶するや領略はこ

洪國祭日に御祝雷

を兼成さら巻巻紫藤鹿の〇九で海し駅合戦隊司令重要より敷大子巡査を占れ、石の画 上版に乗さられたりを発売見の報告を発信、不の後略の指中変戦を受けて変差以下巡過戦と延命を共にした時の戦と戦にく、見くその任御 海軍、省公表(八月廿日十五時)昭和十七年四月十八日奉ニ諸動部源先数するや本七県方洋心において選挙ここれを連張 の緊急性能方策型側につき委 ・發表した

科學研究の總力

めに一衆協力研究に無進遊在さん おいては今こで皇國職力増頭の治一

れが完備の上な振鷹科島湾の優しの趣旨を得へ各研究機関の後づる求め、こ

の電弧となり必勝不接の機制が一般部隊に遊し組大なる科學戦力と別答され、わが無数なる第一

ラるト語とを信じ、力を認めでやまの次第である。 勝不接の機制が一発されきる。<同日・参不要

修苦を極めた激闘

果敢、最後まで敵情報告を繼續

の報告を登信したが、敵を發

十九年度和

を行ぶとともに引ついき別々敵情

第00点は直らに敵發見の報

受け午前七時箋にその通信連絡

附下さい 通報書を御業用 御採用の向は

科科科科

してその任務に限し既是以下 動のに至ったが、最後まで敵然 婚ふに至るべく國民一致不職の奢 而してこれはやがて日本の科察水 郷の削上となり國の基礎を永久に

強動書なりと配む仍て弦に感状を差異す

聯合艦隊司令長官

ħ.

でるが既に然えてある、この形

めてこの成果を一分に登集し得

料型技能の綜合的動員機能

ては自一別金巻記されてある 大臣の所容する大概をの他 この重要なる一般として取

気合い何なのくことにより

日の際職で決定した料理研究。天楽陛下に無勝仰付けられ同

のほどに恐怖威胁丘の重話を

膜の上に重れる社権な大御心

かりませず不日とくと連携を数別に御多端の折がらにかかりまし座下には建國多端の脈紋

文語大豆謹話

限り今回決定は見ましたる。

車月: 水區中級 ・ 時行後

日常、阿都文祖より『科原研究の 官邸に開會、東係首相以下各名的

定例閣議(東京配書)中

東亞軍司指揮官に

叩き潰せ

敵必死の反攻

侮り難い米學、生兵士の闘志

順が設地してゐるがアスリカの學

世元らて智を製造の大生へのぶ

10定例機能は午前十時より首相 、開議決定事項。沿和十二年勅令につき報告、午後等時五十分散會 のら天羽情報局際域より所管裏項 件」を報告、高陸の意飲を求めた スチルウエル決定

【リスポン十九日同盟】 ケベツタ

の書談で在重慶米空軍司令ステル 令部指揮官に決定したと解へらる

心臓を寒からしめてゐるが、この ルをつくじ酸ト塵部線を選兆して

のることは特に江瀬を要する、

羅的向上をはかり、職力のに無中変揮をしめ、科學のに騙する壓離研究力を最高

**最し文相に種々御下問を賜る** 

大御心

マ融ムンダを中心ごする日米の砂 山田市日徳同盟 一口・ショージ 心死の反攻企騒に強して皇軍の別 蔵闘は日日熾烈の度を加へ、

質で見ないほどの歌音さを加へて 地上戦闘に於て敵米兵の反撃が、 日本典上於一天邊陸下萬處上四 んで死んで行くやうに、ムンタ職

して第一線を志願してくる、その

第一線第二はがつらり押へ敵派

差行する秋なのである

行刊

續

和琴抄

自家の株正素である。 自家の株正素である。 自家の株正素である。 自家の株正素である。 自家の株正素である。 自家の株正素である。

女性短歌讀本

B6 州美紫四一〇頁 (仮二・三八

今 井 邦 子 名 著

↑5.判上黎四七八頁 廣五·上〇

だと見限つてはならない、敵アメ ある、ひだすらに着い米製生がハ 既に取ってゐるのである、これは 生だ日本の最後にも行っず、 のに自り活願して開大の正常

的の大清釈を献に介せて、總ま、年』といふ答案な既に過去のもの配せねばならない、敵な人的物「印音書名。多代成当の主主書名 で反攻戦を遂行せんとしてゐる一定、若を青少年は今こそ直面して 明悉藏章『次代帝当為小岩岩青小 に致けるな、そしてニューデー

の城間が今に北要語言れるの下

京東

堂松巖

意兵學校數官 西 滲

幹

暑

侧價格統制法 宮城經濟院亦長、冰野益三郎著 國民防諜。其。指導 おも州上公二七〇頁 價三・三〇

本書に現時敷手經濟下重六なっ。便物價身策の法明的具現たっ。便物價身策の法明的具現た。一個特別制金中心として我價格影制金中心として我價格影制金幣運火車のとして我同時度等的。

大臣經貯畜問答會

◆安藤本民(岳峽龍一京城中高異)

かいた人である。本本でる大義の心を持 社

礼、潮 新(銭拾四價)

か、事業の添託、譲渡、際休止文

出資、使用、移動の命令であると

事場に魅する設備や概利の成分

企業整備と資金の移動

企業整備ミインフレ抑制

城人教授

原

Ĺ

付する認識金が約四個間、外に密照八千七百四個、合計約五十個個の対象の支出が一個大千七百四個、合計約五十個個

の師可を得て流動化の途が開かれ

ただ、明戦では久しく職業など

ることになってなり、欧府はこれ

「朝鮮産業物資金圏」がこれに営

朝鮮でも内地に削騰して、成カ 朝鮮の整備問題

政府に1億三百世路国の公債を行

た電道が、簡法の規定により解放を電道が、簡法の規定により解放 説であるし、機能財産の分配設件

> た、物質の減少に関する単語的場 ものもあり、また企業を削によら ず、中にはなほ継続省成を要する

金」理化のためでなく、職道せるに

今次の企業整備が単なる産業合 國民全般の協力

の現技語に即應し、限られた現在

金減緩伸により基業を酸休止し

**會社解散とイン** 

企業整備と戦

力增强下

流通するを本語とする有質酸物の 性弱上、かやうな真大な額につい

封鎖資金の解放

そこで、資本金七十五萬國以上

時いて、発動態質力化の防止に発しおける心臓の整備に関する整数の一時ので、発動態質力化の防止に発しおける心臓の整備に関する整数の

する蛭倫を實施し諸生産際

た現地軍官民にとって威慑深いも」にもまた新たな威威があらう。 楽園純人は軍政権行に協力して來一新マライ建設に願いて來た現地人 【昭南廿日同盟】マラベ北部四州一のがあるとへもに墨軍に協力して

> 一、サワイ・ドンキャオ和浚渫に 脚する協定

企業整備令により、所有金融の回

れを管理するに必要な資金の手管

今次の企派整理な資産設地の資産でも自動は、第四が原用人に空間と一般地へられるが、これな場所と

光榮に威泣する藤原氏

戦局の現政階に盛して日夜 宮閣総規権以銀次以氏な同

ひ奉るべく、一同に対しぬ

三州長官、感想を語る

一、両國第における餐祭取締に顕 圏外節都と同いてソフトは約天節がかねてより佛財政府との間に 「成数を得たので十八日に即十時選がかねてより佛財政府との間に」 成数を得たので十八日に即十時選びハンコンク古日同盟」 製図政府 につき交流中であつたが、この経

小庭店は選集工場を設けず一保 一、提案工場は京濱、阪師の同地 居にまとめて各ケ数工場とし九 原にまとので各ケ数工場とし九

地區的係給狀況、原板の人手關係

쏊

れてゐるのであつて、それは決に決戦への心極がハッキリ示

を發した、今回の整備においては らびに関係地方長官あて次官追牒

亞鉛板企業整備

生産を地區別に集約

とガスーアン脏薬フランス代理公園外務省においてシット外務次官

**連との間に署名願印を行った上十** 九日夜のラジオを通じて破壊した

泰佛印間協定成立

聖慮に應へ奉らむ

中に愛内『日本の敵薬と能 した内閣理問訴訟

氏に引縮き廿日午前十時宮

皇國の眞意を闡明

日泰の提携共助更に進展せん

の感慨は一人深いものがある、以

下はトレンガヌ、ケランタン、ケ

領土編入調印 軍政監部當局談

地打合會は上補処產局長以下經濟。 趣すべく廿日京城に開催した小型現場把擬によって建設を一数と推 府關係官、當麼業者、 數碼統制度 の極敗と建設は路及びこれが行 第十除名出席、第者より建設は 部はじめ開放西望部側會近在員

大子校の増加となってある 五子成(一成年七時編件ヤード)大子校の増加となってある 五子成(一成年七時編件ヤード)

問題は木材の需給

要領を羊毛統制の長宛次官 税した国十九日發表した、梳毛、

るため總督府では廿日附告示を以

レたが、現在のよころの年間後の「<u>運元大電観画</u>家の」 \*\*る石炭の食 | 機械化不徹底、投稿上の放照系数 | 産気が放射でも | 運売大電観画家の」 \*\*る石炭の食 | 機械化不徹底、投稿上の放照系数 | 主因は | 地質比較工方を変図 | 地質所でも | 運がの優先態度 ・ 終力の確保、助 | 各気が放射で名表現と調整しつっ

Aあるが、その現状をみると各一島における有態疾會趾は約世社を

あるものとみられる、順ち現在学

「東京電話」腕二省では十八日を

梳毛紡毛企業統合

役畜の飼料に

統被の二百七四級と

新坑開發が急務

朝鮮有煙炭の増産案

- 裏図を 競行することに

最重がアロル: されたのは質い

小型鎔鑛爐建設案討議

、歌源は計選より相望延してゐるも

あるが様毛、紡毛とも云る昭和十一緒狀態にてらし、これらを金鯱的あるが様毛、紡毛とも云る昭和十一緒狀態にてらし、これらを金鯱的

金と同じであるが支援開始年

次に定期年金は一時排、分割

題に月指が新しく加はること

は地區的に似止價格制を採り延定

소

者最高版数價格は左の通り(百斤 卸置業者、小置業者の最高販置図 の公定質格制に轉換し、生態者、 格を設定せるものである、小質繁

猫立を完了、廿日よりは山原、京 半局の受状器は防に西北無一様な

夏秋蠶

の掃立増加

一の質効疹透

おる、なほ整備内容における統元

**働を進めてをり、また層数供出に** が中心となって統合艦を結成し整が中心となって統合艦を結成し整

・八七本薬物(風合郷・芝・

盃

獨往する鰯漁業

近く統制會社を設立

年品高級の主座を占 ものに総理するが、蓄積を頼りにめる船舶は十七年度 する何さは休憩した方が宜に1 との言葉は帰りたりません。 中部した 高価を頼りに

統省局では十八年度 上して回游状況調査 で行ぶ一方本年の解

申選、「整着戦」も國際的長地より樂 時急出並に附方側並えて日本出すと言明したので登記に渡して の希腊に加やべく整備をより発表の大きなない。 しゅうこむを元分等値のよ、美術社の場合である。

五千萬圓發行 悪いての殖銀ち號債券 魔銀では

産債 元資金に 元留するため

いても昨年度第一次供出を行ひ

側層肚調査による全解の補立枚 等中鮮地方も結立を開始し漸く

道に認ら、配給する ・ 三十〇反▲配注・1三〇 ・ 三十〇反▲配注・1三〇 ・ 三十〇反▲金配・1三〇 ・ 三十〇〇反▲を配・1三〇 ・ 三十〇〇反▲変配・1三〇 ・ 三十〇〇反▲変配・1三〇 ・ 三十〇〇反▲変配の回反反。 ・ 一三〇反▲感潮九六四 ・ 二〇〇反▲感潮九六四

他さんとしつへあるが、 羅

(七月廿日現在) は四十八萬四

殿所統制度開解文部の第四回地で の人大権順調で年内に七〇%程度 低、支部よりは配給退職本副長の日間により北鮮地方に於いて **欽調田給紙が事務行合書は、** 鐵鋼統制會 巡回事務打合

> のが正しいのであるがは個局 便年金は本來年金保険といる 主たる取扱機関とするため

便年金とした語であ 従って年金も

【東京電池】路林省では現下食館 日成興、九月一日元四十十五日治津、廿二日治津、廿二日治津、廿二日治津、廿二日治津、廿二日 青果價格改訂

に悪盛し必需食品度産物の重節的

を附してあるのは即時終身年

の支援をなし且一定保護期間 もので保証期間(年金支練開 に至るまで年金の支援をなす 館は五十歳、五十五歳の であつて少批年時代より摂金

生代中に限り年金を支援から

とは

約(定期を除く) 世間、

皇金在十四人宝二起以下

リフンので、宋た出山の編集の一般合協憲な意識的解析を挙げる

部事工店商/4 ④山電話電

個に上る朝鮮祇の一

全北製紙設立

大九九

ゴム工業企業整備

大戦下新取引所の 発足を機に一段の 登足を機に一段の を は 一段の を は 一段の かき は しゅう は しゅん しゅう は しゅん は し

常在戰場

券輪原大

イズイ・イズイ・イズイ・イズイ・イズイ

京大 高田亮平教授創製

保護工場など別地層において

錠劑 オリー ぜの

Ŀ τ 防ぐ

赤沈の

盗汗

病難が 用

固つ

服

効

果

東亞棉業株式 株式會社兄 釜山水產株式 寶生 株式會社三次 天一ゴム工業社釜山工場間を開発を 日滿南事會社釜山支店 所長来ム 小澤弟 出工 1441 層 品商 新會 点業 廣會 會 司社 -- 所 祉 久吉會

突 兵徵 配合 藤 石 紫田 隆 農業 水礦 立株 П 石式 油 信會 杳 吉社 藏店

おか # # # はまでする 神一節 約 の 精 神一生くべきか 生くべきか の 精 神一 我于に問る父心記,久保田万太郎。母月子を大空へ、随首中尉度交替 國土は如何に狙はれてゐるか!陸軍少佐杉本和朗 にの言語 自給自足の野菜作り、西湾巌・決戦臺所工夫帖 必勝食生活確立一際油馬 比島農村一日行……東韋提希夫人(歌路以後)……相 神國の清。血・秋山謙藏 . 特輯 必勝食生活 … 三村起一 星野 源作

**今年全生活確立**│和浦庄治配給と決戦臺所・河合良成・芦澤千代

勝ちぬく誓一人橋八郎

潜水艦學校卒業式

その一

の月〇日、T上、機なこの日〇〇時〇〇方面を飛ん。 断影を見なかつとが瞬漸水臓の驚いけい 機なこの日○〇時〇〇方面を飛ん。 断影を見なかつとが緩漸水臓の驚い

く銃後に送るが何れも実際せるわが航空部隊、れてはならない

階成戦に 展観され他らに 道歌を増してあるだ。 度統約 海電弾によっての み死めて得られるも

飛曹は直ちに

直接をグ

たらしく遂行を開始した。下上 の目に映じた、雲間から不蔵に現

水中が駅々と 盛上りり

てゐた、それにしても異数間しか

向ひ十二海里位の速力で悠々走つ 機の前方左三十度附近をこちらに

〇〇キロの洋上であつたが、わが

もわが基地にこんなに近い洋上を

けた巨脈の背のやうな甲板上に波

方に臨首部が漢声く雅中にすいて

事しました、**機能**終了後五十メー

現が兼え沸つた、航下角度〇〇度

ほど前方に落下し驚傷の後部に直らと殺気が湧き上り一般以殺の間

部が脱男主催で廿六日から四日間外、漁場が落の観練成會は陽圧都力期、漁場が著の観練成會は陽圧都力期、

金剛製造場で行ふが参加者は次の金剛製造場で行ふが参加者は次の

ふ弊を吹く一方・

割ると、かんじなかり

んのウキスキー

った「畜生質めてゐるな」むらむ 搭乗員たちは非常な窓

基地へ瞬島の直後直撃出來なかつ

報道戦士の 一楔鍊成

> 沸らした必の日 から南方諸域に 機関民の血を

ちに激怒して行く、追ふ筋脈の前のですが頻繁は筋筋を覆らせながら動脈は見る~)う一酸は十六凝単で浮上を

酸は十六海甲で浮上航行してゐた

けである。配者は南海の〇〇基地にあってわので米英の如き機械や計畫に綴ってある絵画 機や輻胎腫、腫逐脈などの張り繰らず緩磨の「がもつ緩鳴のものである。剤に不屈の精神力

せんとする戦激水艦のゲリラ戦廉動は依然と、脚を掛いて気訓練を重ねてある我が拝鑑の血せんとする戦が生が行ったがらもその戦場ですと、「魔太平洋方面におけるわが輸送器を戦闘、投議と就は決戦を継げたがらもその戦場です。(魔太平洋〇〇基単縦組身派的報道派員後回 の後い就職を物題る財命の撤售である、この(魔太平洋〇〇基単縦組身派的表演列員会) して続けられつくあるが、それとて我が哨戒の出るやうな努力の勝であり、我が荒賦のみ

> 職等上潜水殿の姿が突然工上飛門 キロ附近を白浪解いで進んで來る

我が鐵壁の哨戒陣

哨戒に當つてゐたが進路に横たは

操縦の哨波機が敵拝上潜水磁を

き中央戦闘局、中央戦艦局、中央国艦人と答案・同五時初巡戦を移り、引響・更に富平と

更に富平に到り仁川造民廠を開緊 産業成士達を放助、午後一時過ぎ

府でも一朝の観の祝へ 本れ、といま

の訓練を加し滅信事業に遵拠する

る積製を右に避けてその前方に出

見敵必殺

敵潜忽ち血祭り

局長から管内狀況を隠取したの

巡視した、宮岡地域地方態信品を初 し廿日午後二時京 本馬務課長を禁門

視巡初

の重要任務に展す一助としたいる場合で内の現況を詳細に承つて集成に置ってあるが銀成のための領別を詳細に承つてための領別を詳細に承つてための領別にあるが銀成の

腺を喜んであたが、その低層

小村総代方に小森、安藤、谷油の

島に改兵側度質施される港に二十 生れた生ツ神の上地ツ子だけに半 小蘇勝太郎兩氏



錬成を生活に顯せ

地方遞信職員に飛檄

内地同胞が贈るお祝ひの献金

|内旭町一丁目東部第一町面に脚

名をもつて左記御歌を下陽あ 本婦人留から敬表された、明

できずおひたるますら近げ

心中でとつきゆかなむ

これぞ内

鮮

體の

個部東水南町蔵北蝦紅曲紅では、

ビタミンの新寵兒。B。

五千圓献金

を徹底制質施配念として錬成事等が担長規徳氏の名をもつて企五年間

【集京館社】政府は決版の深刻な

科學研究機關を整備

紀の観びを記念するため戦命をなし魅力戦闘

に於てもこの違い心の概つたものを受取って 非常によろこんでゐるが《年島同胞の熟私に

いっと形内旭町一丁目東部第一町會が帰ち上

金々で全般的のものとするの運動を超さらと が、早くもこの噂を聞き解へた間山方面を始

徴兵制

に對する間頭印度側に裸き思

人後進に積難き御 題宮心殿下にない

腰へ奉らんことを別してある。紫旋に第万して思召の既一に 被前側を出めば東江人の結婚

下殿妃宫邇久東

とを無し別機を頭音を軍人数 とを無し別機を頭音を軍人数

で日帰不能では、「中山」では日本

30

**築を計載目下連備を進めて** めた傷行婦人を委能する家

本止總裁謹話

山內日婦會長護話

版く回具の各層にわたり個別版と回具の各層に対ける理解を深て人の結婚に対ける理解を深て人の結婚に対ける理解を深まれたとを切する天

が、その重要なる一致として大學 め、第七科展技術の助質に関する

一、科學研究の緊急整備方演要素

き練いんとの 然血を凝集して去る

に叙述に対する動作等に甘五日間

すが

総合的根本方策を終りつくめつた

例類議議院上降部文相よりその成

儒案李鏘整中のところ二十日の定一奏される

で丁川城師を見使々延で開催され

少疑脳或は脳場に踊っては今日後

| 大地眼ボ出張 | 大楽を | 大楽を | 近面 | 近面 | 近面 | 近面 | 近面 | 近面 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100

御相談は

種路二丁目 (唐年会館階下) 電光二四三、

謝

校庭に滿つ裂帛の氣合

健民錬成銃劍道講習會終る

間が必ずして廿日年後六時から同

(京師団木惠文君)の《数官の別の職状 無順があつて 受談者代表

ものひたい。との狭ツ、瀬中仏か

あつて高崎京師役長の疑路で木銃

命名選名に應

校々佐で終了式を題行、受謝者三 鉄筋頻道路習動とは廿五日間の明

整列、大日本統領道接與商朝

含文語長(代標語中医)原館総督「帰」同心報視賞した「富貴=同識援政党(代理小政務管督)と独「智貴終」式」

油排北區町 配三六二三

謝

農繁期に萬全

長城は我が基取の群るべき城織で「殿で破勿にいてした、或は常紀に「寒心教の戦い銃剣が楽しての目」ある、この原統を観ぐ若人遠に現

すること、なり文部後を中心に真。れる決定した、右要が深遠つこに、その他科學研究機関の態勢を整備。を提示時期時間做近示認のメラニ

洵に恐懼の至り

植田傷痍軍人會長謹話

たは御訳下版の元気子心験し

軍援に厚き御仁慈

傷痍勇士へ御歌を御下賜

しようとの無意に燃えてあるのかされるとのない血細亜を建設がされるとのない血細亜を建設

でないた【罵嘱=本社を、ギュエルギー 敬授により ビタミーとのものを禁出させて | ミンB - 六は一九三五年ドイツの 臓などに 殿窓に含何される ビタ 領党として登場した、 世中、米線タミン BIバはかくて 科學の新 である、この新しい科製の電丸ビ 小紫还芽、牛比碱、牛心碱、糖片

【東京電話】 ビタミン 科學 の郷 ン B被金融としてその 存在を明 質すると観毛で敵はれてゐない四 党氏により組織合成に成功してゐ 明されず、自戯をその眺辺鏡で側については世界各國ともなんら関 かにされたばかりのまだ 耳新し 擱んだり正體 蕁麻疹なごに特効

めた、そして原治困難をかこたれ れず暴黙の命政となってゐたが版

強の代謝物質のみはさらに従見さ

くべき進歩過程にあってなほぼ日

付を納まし、支部所在地から貿易日午前八時までに貿易に勧着し受

等の往ばに事故(三等) 単に

間の政治、經濟、文化、風俗等各社を経過に帰促して協派した劇印方

機込込んだ改重なる七拾除

**電影福間** 俊正道原木生產出資組合

第一次陸軍裁山派は選がその壁機 新しきその第一蹴級から飛出した

りることなった、展

質人生 駒 春 介道製材生產出資組合

現出せんどしてゐる

電話風に足を延ばし回七時引揚げ

空襲に備

板垣軍司令官 敵米英は隙あらばわが本土空域の 野鼠をいぶもなほ捨てず、北より 殿の腹いせと反攻を企てく鬼番

【仁川電站】 決職下多事多職を事 より機銃揺射したといふ、何んた 特に狙ってゐる・しかもそれは爆 動を縫ける、提近米機のローマ盲 **南よりその距離を終小させては置** 



手台紙に貼附した虹膜切手は木 行のとき現に存する動便貯金切 前に登続いた剣便切手貯金合紙 附一线到凹切手、东龙体本令施 す間取扱いを際止した をもつで虹虹貯化する

の開業昏師、昏鬼徒も飲起して苦意には衛生質局はもちろん、全獣

ることくない機管所では一次も早

うとしてゐる、なほこの血液型検

この血液型表示はまで防災後近点

火れて、これを戦闘的金して翻り、 の例により貯金に育入すること 令施行の日より六ケ月間、従來 これは、呼吸の手などを動 味を生か

強めよ の例文は體が悪いなが

上する **奴郷源が出五名と下属で落合の甘** 崎沼氏以下三名の台越からの代職 んを交へた一行十一名も廿日取職 天統日林氏等八名二、ヒ來朝、九州 を受け十九日夜景観代表赤縁金二 日十一時十分競の総行で一路東 すり 結省とする紅一點の開露さ

息・威冒・嗷闘 (包装O 2000 10管 2000 50管 ーコソオチ

にも開業していませんが、 代理店 北道南部製材生産出資組合

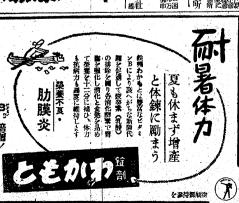
州職業

紹

介

所

すこうしたけい、よくでした飲み方は、食後に生のまくウキスキーのほんとの味を生か した飲み方 が間法と規定ニスリ化版へ告候也 地が間に対して、 の場合では、 の場合では、 がの場合では、 がの場合では、 がの場合では、 がの場合では、 がの場合では、 がの場合では、 がのるが、 がの。 がのるが、 がの。 がのるが、 がのが、 解電球販賣株式會中國發到了自己九番地 冷水でうすめ



世日國区総万朝鮮戦戦の「戦金した」的党力を最高度で記集後的するたった。 で金の一部とと清潔帝戦闘を重し、機相に戦闘して科製に関する集戦

展験現を削い、保育器仕班の縁成

生産部国に攪はつてゐる幼兒ぞも|南方共夢園地域の人々を戦容させ

てゐるが、その建設の中にも南海

- 保育奉仕班の指 導者講習

から十七日までの五日間に買り京

日が朝鮮本部では九月十三日

全愛國班員の血液型を調査

の歴史山な場面など見ものである

文學者大會

ミシン部へ

か品賣出

工場・

大安商事様式會社府外東護島福採・引受いをします。

期的試みとして血液検査を行ふと表が、更に敵機水吸の場合にきたが、更に敵機水吸の場合にきたが、更に敵機水吸の場合に 三名、韓日朝報一名、二名、金田朝報一名、

【下鱗電話】廿近日から大東距會 代表織々東上

館で開催の第二回大東龍交易者大 機関層の解筒秀剛氏:行の出連 日曜する各地代表は日本文學

結核 --組 般部分 たい 大流記「目れれ ないました 電がSEOOI

20世界に対するとは、19世界に対対は、19世界に対対は、19世界に対対は、19世界に対対は、19世界に対対は、19世界に対対は、19世界に対するとは、19世界に対対は、19世界に対対は、19世界に対対は、19世界に対

提銓銓宿待 出衡衡 書場月 類所日舍遇 票所求 集在人 員地者 員 急募集

ル型される。 ・ のでは、 ・ ので 附和十八年八月三十日で後一時 開和十八年八月三十日で後一時 開発が終めた。 の原理があれば、 に関連があれば、 に関連があれる。 に関連がある。 に関連がる。 に関連がな。 に関連がる。 に関連がる。 に関連がる。 に関連がる。 に関連がな。 に関連がる。 に 学験に依り相違アルモ高格ニテ像出来酸

機械を放出し即

好い時期です

月やく といこうりもがら といこうりもがら の方や御心配の人の方や御心配の人

御班の皆様方早速御馳付被下御帯力に預り 関班の皆様方早速御馳付被下御帯力に預り 此段厚く御醴申上候實は一々邦邀御醴可申 上の處混雑中御奪名伺び洩も難計不取敢以 紙上御禮申上候 ・ 照和大生見 十日 ・ の報子に到り ・ のの際には消防隊・警察官・警防團・受 ・ のの際には消防隊・警察官・警防團・受 ・ のの際には消防隊・警察官・警防團・受 ・ のの際には消防隊・警察官・警防團・受 ・ のの際には消防隊・警察官・警防團・受 ・ のの際には消防隊・警察官・警防團・受 ・ のののでは、 ・ のののでは、 ・ ののでは、 ・ のの

伊豆紫红色 壽 堂

謝

類

近火御見東 日東東 靡洋 篤行

内地へは 北鮮 - 新潟便で 北鮮 - 敦賀便で

舞

和田鑿岩 原語本局の一五九二番 東城町櫻井町一丁目二八 原 城町櫻井町一丁目二八 駅

日本海汽船

謝

一共燐 游 寸 株式會社

謝近火御見舞

電話本局② 一〇五二番 本社 京城市區省南四三番地 代表音 佐 郷 屋 嘉 昭 八 田 組

33 大御見舞

候 日近火の際は早速御見舞で示し難有深趣部 近 火 御 見 舞

本町一ノ本坂屋本 では五十點を中国 魔型 義基 經費士

**收數盟大邱副交部是伊東正風氏。** 

節節の伊東正忠氏、同じく朝鮮語

は耐酸負荷志者を養験として?安安をプール
京郷所鑑育

取つた、微日中島

運物に附端してゐた家柵を じて献納手織きを通りて献納手織きを通

能では金種回収運動に策勝 路海水浴場で宿泊臨海療成を開る十八日から九月七日まで仁田

が城食福報関除水苔市中隊でに株

を献終して職品軍馬を構らうと甘

**英谷川町公常室ご渡内各町職盟役** 

田區後所では廿一日午後一時から

西田参派ほかけ名漫席して定列開

どを辿たへて始語の成果を辿げ、

この組合を根限として府内各組合

領兵制質施の感謝感激を盛つて我」 あす徴兵制質施威激青年大會

と極ひ起つ青年有志の砒黄質は、 血、極新、東洋之光社後後のも

**弔慰金殺到** 

現在で二千餘國に達したと各方面から吊慰金が殺刑、

普及徹底を聞り極母としての心身

決戰生活

沿著派星、朝鮮金雄國

勝つための

東大門獨主催ノ都市醫察空談無ノ 三山暴俊勘堂に同地區の愛國

以上町爾役員多數を招集、原川智 各常部出席の下に開催した 洞町、中林町ロータリ等の交通幅 一 ロータリ、 糖果電車終點、

誓ふ盡忠報國の至誠 ガホンで通行人に呼びかけて

他に和歌詩吟、劉蝶などの絵題が他に和歌詩吟、劉蝶などの絵題が おでん屋《紀文》附近から田火、

医新規に開業しようこする書は他 間では希望してゐる、なぼ今 出火場所及び原因その他を目下本 田舎者を釣る

そのなき彼は、傍らて後へ身間

製岩

カメラの調整に関 村谷計理事務所

菊田 寫眞機 店

銃後の上条の高揚に國際の結構詩 村岳風氏の無潮北交の現地敷間行 脚で機に日本語阶層虎京城支部で し別類が各方面で熱をもつて歌 詩吟劍舞大會 れてゐるが語時無調の家範木 木村岳風氏迎へ

衛室で半島線見置施記念不英雅波 守れると京城府社會課では廿一日 一後七時半から季佛國民襲後庭で

就意語湯の少静吟風舞大養々を開

警察署連に町雷と巡力のもとの 空職演院重像を開催する









路區、維路三ノ七六、人文能 勝代献(〒○魏)▲

新本計理事務所

明治生命院支

京畿道農會

事務員\*\* の御相談は一二組 ピア 元全の様、統領、質 日本ニュース

日本ニュース

北川株式店











洋裁生徒募集

高ラスカナガエ普県 高忠誠洋裁學院









である。





京城市本間三〇八十月間 / 九安組へ設高機械類/荷港



京城日本

1本エユース



















金珠海外雪河

医学博士 小澤良雄 電話無局®0524日7%種 小澤內科 京城府新堂町二〇四 (女子突葉校前入ル約一丁)

(西)

先づ生活の建直

れてあるが、宮城遙郷は徹底してしか肝要だ、正午の歌謡は動行さ

人五割となって個人の食感が二割

心に訴へることにし今日のやつな た【変えー古市形式】

成果をあげて來た、大東亜戰國艦

当市府実は首日午前十一時

配給が行きとどくやう秋寒でに中物質の横飛れを防止し、実験まで

言景質したが、各町重漫位の開始 選、多大の改選を暴けて同九時

て悪談童に入り丸腰となって感 生活に於ける思ひ思ひの意見を亦

7

京日案内

央市場の機械改正と小質素の整備

決戦生活を說く古市京城府尹

差の決戦に活から口を切つ

**|見るあつまが、結局これな歌園 | 熊や野菜が出廻らないやうどが、 |野杏で聞いて しょうとの | は十分消化し得ると思ふ、墨近、** 

常在戦場の心構へ

**所•**京城府民

時•八月廿八日、廿九日(二日間)

夜七時開演

八月廿一日より 左の場所に

會員券前賣開始

武藏野音樂學校招聘大演奏會

[38]

村上松次郎(籍)

海野十三(年)

★ 日曜十里

は、機能にはの様々(解析)を

あれ以来、加大郎は御苦夢るま けのことではあるが……。 だやうに思る。もつとも言致五 熱帶飛翔 (四) 早速手紙を出して朝る

護渡四方第子隊列標

め、相談にのつてもらびたいとこ でをぶんやり見違りながら加太郎 恐にもたれ、脚下を過ぎ行く徹 おいの田君。仕事がなくて温田 かくもいいととであるたっかう

壁にふりかへってみると、

長のとまるへ届けてくれんか。こ

をかなことを考へてあると彼は 『お、さうか。 別受けたとも』

**各員を集め決制生活に對する登職** 一後一時から所委員働室の同際開

を圓滑に 燐寸の配給

変変りと一部不心得害の要徴

断したり、車道を我がもの

、次の如き交通道標度緩吸項を

勞務者募集 [LB] E

600

料は無利、多数の死場を改進して 盛況が豫想されてゐる、なほ人場

変通事故の火然防止に萬金を期し

當局萬全期す

新型の関係と、動勢、能対、

京城府では《第二回府書」にし正午敬會した

警察座談會

る日の光榮に腕を聞らせて健民健

青年隊の强行軍

來町青年除中林町分除では西原分

日午前六龍園田出籍、海陽霞

見分がこれから思めがけ

長の部屋へ行くに便利な奥の階段

としての素地を蛛磨しよう

模範組合を設置、成果を學ぐ

貯蓄

4下斗栗中福院舎籠など

| 給狀成がや、不固層な膿ががある| することになった
水芝浦島の一圏における繋ずの配| かる弊歌を一着し

かる弊害を一帰し配給の國際を明

力地理に確身の第方を修注して

大概生活なまつ日常身盛の是正 | 刈を行ふこをになつをが同日午前

開小箱) 宛入荷してをり

正しく歩かう

正光氏等の來演あり、線出演画

題の内容光質をるものでその

交通道徳の昂揚に當局飛檄

二•〇〇 (二・一階席) 奏

主催 京城日報金剛部京城府中區本町 三越家內所京城府中區本町 三越家內所

名が署属に集合して汝英陽まで産 八時治永中隊長以下全隊員百五十 行軍を置施、魔らに意刈に取り無

京城府聯盟の實踐對策

おいたの捕鯨船のおいたの捕鯨船のおいたの捕鯨船

城 

賣場出納係採用

京

港

貸衣裳輪

座富 場劇洋東 京型無空原

住宅買ひ度し

朝鮮米穀倉庫電水門通ブリー・

女性の幸福とは

真《刘 口反





親善に輝く一頁

の不法機能をもつて他の異常行為は本年的預より通常するお財の累許工・国におよび、殊に開始は去る四月廿五日南海動物の治いて戦

てゐるが卑怯にも標識をつけてでらず凹個の繁璧を表下、さらに適度ニチメートルより機能滞財を行っ為

いくは日の出後約一時間でありしかも當時人氣晴朗視野極めて良好であり明かに病院船と

識された

にも拘らす敵はこの非人道行為で敢てしたのである。 動機はコンプリデーテットBA監察で

上はおいてまたもや不法なる敵機の爆撃および機銃掃射を受けた。

こにおいてケントンおよびモン一條 日本國は泰國がシャン地

第六條 本條約は署名の日より實

第五條 本條約の實施のため必要 の日における州境による

なる細目は兩當國官憲間に協議

は悪び楽園に前る吸激に小雕り

ビブン首相挨拶

畏し終始御熱心に御聽取

けふ重ねて藤原内閣顧問御進講

わが取り地域に深く観慮を書

名されたが、古日重ねて内閣 名させられ親しく師生職を取 雑問藤原銀次記氏を出中、石

時表倒壓所に出御、縣原銀次 北池を展下となどの日子前十 断氏に機しく無機即付けられ

今代の折柄やの銃後直縁界の

たり同地に来難したが、これで三

「ベルワン・・九日同盟」 DNB 下

ビヤジマ西方なび多数の地區で新

十七日イデューム地區で、また十

スン海南方で新文票を開始した 八日にはミラス河沿岸およびイル 成像は擴大してラドガ海南方 | 失敗に臨した、次いで赤型は去る

の重ななりヨール、ピニルコロ

総取油のせられた、御政務師

氏の御生ぬな終始御繋心で御近産は各に陪職差許され藤原

一機なわが命中班を治の白煙を引 一施後に管子の被害を出した、数

焦躁の田濃い敵米空軍はわが補治

【マカソサル廿日河墨】 ソロモン

「バンコツク十九日間盟」十八日一案の三重要法案をそれぞれ可決し

数徒に動する特殊取扱に騙する法 非常時金融税制修正法案および回論議をつづけて来た又百換戒法案

を許可したが、今後は二夫一妻以 の一夫多妻に対し、

上の登録を認めず

泥將軍來襲を警戒

赤軍、焦慮の攻勢續く

ネオ來襲遁走

に攻撃を加へて死た、すなはら

文盲には罰金

在神し、熱効にわが消象基地

機に命中弾

させられ、日本の 産業と 胞

一萬、ケダー帰四萬、

相談郊本らかに坪上大使の答群を 接收條約機即式におけるピグン質

イおよびシャン両地方の泰良管 心臓及窓無係の一ページを飾る のである、盆來落広れ來った である、盆來落広れ來った

職人除けななる

調印式の挨拶と答辭

義に基く大東亞を建設するの に對する共同の戦争を完遂し道 は兩國緊密に協力して米英兩國

大日本帝國政府及び泰王國政府

まり六十日以内に前二條の規第三條 日本國は本條約實施の

の領土に開する日本國泰國間條約

マライ及びシャン地方に於ける泰國

動の決意をもつて左の通り協定

| 條 日本國は泰國がケランタ

素が発品」今回日泰問と

泰の附属國

ぶつころもに駆争完後の方金 送げ日本関係全般を検討

・
証案
大使と
ピブン
奏
複
言相
と
の
聞
に
「マライ」
およ
ひ
「シャン」
地方
と
治
け
る

西統領と會談・英大使、近く 政府はマドリツド駐別英國大庫が 同盟。ロンドン來電化よれば英國

> 部スペインのバンオ・デ・レイラ の別重にホルダナ外相、モロソコ

第二の都市ミラノは六年灰橋

米、對亞壓迫更に强化

により独立された北部アライ四

書を作りました。御希望の方は郵客とい資金關係に及ばす影響につき右 封入の上調査課宛御申込み下さい。

十 解 就 中

今次企業整備方式の内容とこの輪節

企業 整備 業 を 備

病病

採油機械も禁輸

**極化されるに至った** 

より米暖の対面部海峡泊におらい

盟邦日本と相協力して一路突発圏「週めつつある・

建設に選進すべき決成態勢を記々

表忠塔參

羅

日緬一體の協力具現へ

機に愛達したのち間小時間分火庫

テイン・モン大使、抱負を語る

室りこの孫油機械に対する許可 でニ 自由な輸出を認めてゐたが最近

なば高橋大將は属國の途次水間を は建國大學で統領を行ひ、四冊か との歌映画に出席・午後に時から 界軍司令官策全和大便、率外交部 **入海点十九日问题】高棚三吉海虾** 滿洲國首腦訪問

千擊墜 東部

月五日赤軍の夏季攻勢 は東部散線の調客車は去る七

【ローマー九日同盟】 併復司令部

十萬順を記

聯機二十台を繋墜した 十九日競表

を覚服して

流の

附近で商船:茎に直撃頭を明へで敵聴突船間で攻撃、ハツジロ

0 おか 食慾ら い程 體

をつくり間内でかける装置にし食物を含めているが関す行はれる。 ゆし残骸であるが関す行はれる

## 選える領域機長につき完全な この食見の結果薬団多年の宿 につき意見変換を行ったが、

委員会を設め、路板の誤解を進め去る十二日の家國議会においてこれが成案を附護決定した

即時効力を發生 時(茶頭時間)パンコツクにおいて呼 祭園の発展優化とくもにたの対日協力決等 に繋する日本國『泰國』間條約が署名翻印含礼即時効力を是生した。かくて泰國の新領上無人はこと

吸右條約案文の妥結を見、八月廿日『パンコック』において 特命全權大使坪上貞二とおける『タイ』國の領土に關する日本國『タイ』國間條約締結方につき 交渉中なりし4代閣總理大臣間會談に閱續き日タイ庫國政府間において『マライ』および『シャン』地セ情報局發表 (パ月廿日年前) 季年七月四日の東條內閣總理大臣および ピブン『タイ けふ日泰間條約を締結

交渉を進められたるところ極めて 友好圓備裡に姿緒を見、昭和十八年八月二十日午前八時四州およびシャン二州素國編入に關する 諒解に基さらぬが條約化につき日泰兩國當局間に 泰國外務省發表 (八月廿日午前元時) ささに東條、ゼブシ南總理會談の結果一致で見たるマライ 上大使およびピツン總理兼外務大臣事務管掌はベンコックにおい 國內閣總理大臣兼外務太臣事務管導元帥とし・ピプン・ソンクラムとの間に右條約の署 て條約に署名調印を丁

泰國の地位更に强化

づいて畑上大庫の答案を行って購れの雇用式を無事終了した 養脂、塩石に日泰明文とよる條約正文各二連にそれと、著名勝印を行った、終ってピアン当相は日 を黎領する鷹の花の田地が飾られての前に附みの署門を行ふ附が設けられ 定所継續で撃のヒノ瀬間してサマチナヤーに到着二階配間の式場には正面に捌けられた 日本航空専起の客機となる川 かて行れ、参照ピプン首相と日本側坪上大使との間に無重署名調印を了した、この頭やが坪上大使な新洲参事官、陸海軍武・以下を 調印式無事終了「パンコックは目標型」北部でライギムジャン 運一郎豊伯作の大東亜諸民族の数条 | 病地方の薬國領土に購入す

さいまいより感謝の意を表明す ここに日本政府および日本軍に ここに日本政府および日本軍に

たことは愛國心に燃える暴國民の を英佛の姓衆によって掠奪され

昭和七年六月廿日の國民革命なら 限を示したものであるが、これと

の久しきに宣る僧殿はことの李成 て配よった日本の竜殿町町屋と海でされた。顧太力に張國が壁が六十一立國家の完成に全力を京戦しる場合に通いると日本の竜殿町町屋と海町である。 ※淵等戦を契機とし 重點を置き國力の回復に進進した内産器の振興、國民致行の音及に は妻面的に な泰國の國際的中立態 た を 外國人 昭和十五年日泰友好係終と同時 ラタニヨート

を布告すると共に共発圏建設に適 急速に行はれ現在北部家におい また國防の 充質は対佛 印料

ペツク強鉄はいよく
反猫動艇常

(第二酸線を) (第二酸の協力系

の場合、純粋暗楽せるイース・消化力の實際を製る果がある。

有標がアリアリ見られるが起し、消化力が極めて旺盛

万家の内容の内容

スト蘭研究所

第一戦線案に報酬要求

非人道鬼畜の敵機

叉復、わが病院船盲爆

**七分わが病院船「ぶえのすあいねす」丸は南太平洋** 

のに對しては五パーツ以下の発金 楽園 各銀行は各盤業日の 最終預

無傷局は、ドーバー海峽沿岸グ 不岬のドイツ海岸砲兵隊が上 【ベルリン十九日同盟】ドイツ海

め、驚厥部は煙茶を張つて西方に砲口を開いて二葉他撃を加へたゝ

夕元帥が指揮 シャルリタバン獨羅軍 マルカ

職級グルン循環堡の脳羅同盟軍 りに、\*\*

お肌の爲に ハビリオク

| デルー九日同盟 在郷七

乳行される 物定である、 天

翼献納に日本一の記錄 在天津邦人が熱誠の六十機

整夜生徒文も選覧―頻路區先西町 | を醸し出した

徽文中の兩君、土垣の下敷

町一ノ三六六四松村郷珠(こと) 一九八川本楽浩(しま) ★郷路區鉱ಁ町一六六ノ

する同目がございません

てゐ京したが麓に生徒達の大き僕の生徒達と一緒に上頭を加つ

凡ては私の監督不出意です、申上軍は関係されてしまいました。

勤勞に尊き犠牲

が、晦の敵約式は來る二十 一陸海軍へ夫々戦闘機三十

活實機の 道としてざきに 問題で決

り國民部で一番は、特にその歌源目的を聞きこれによっ合体今後解脈止、または開整され 定、富腐及びその外の関係のかろい

では本年四月飯民運動諸行事はこれを行成さる方針を決定通牒では本年四月飯民運動諸行事は

嚴に之を戒める

も費するところのない行事は悉

自給力の緊急強化に費す

鐵則五つ 竣工式など廢止 廿日左の如く談話を競表した

は一番みつらり歌まればと思ひまを見た华風の竪在拳はこの一思明

が 原文さん(京畿商女四年)はこの

計員の大鱶

怪物でその一匹には服の中に目の

三十分しっぷ葉粉末百気一円 テルモライツ

けかの市況(計画)

券證

肩こり腰痛

國志

吉川英治(作) 矢野橋村(種)

民態校一年の時から今日までコツ

質質に陥ったれて中暴躁化の貯金(墨デるには、先づ寒の優と、不渡。を八月十五日とした活動のを壓動を一目あんとして顕著。輝かしい。へ、海へと若き熱を燃やして馳せ、慰するが十字通信の特別配官期間 放棚してノートを捨てム、空へ壁した、殿障學征動員にまたベンを

測塑制合定性制に長さ大尺、目方 の数であつたといはれてある 「清重電影」十九日朝清津神合の も呑みまど前化されず心生きを ○ 上次に成の他で概念と」「お石」不屈の新師を作らう、いいふ橋の 健民運動の入賞標語 全鮮學園に色刷して配布 は機能の一つ」

日がではさきに南國在住の邦人に 抑留邦人への通信

(東京経治) 数を探った後の比別 ら國防繊維

繊維を採ることに着目、同復附臘 的に戦巡されてある道脈の皮から 機の機能油深油を目的として全國 うに…・旅継不足の折楼園防衛舎 取れですから捨ててしまはないや

物な繊維の生誕に成功したので新

三國高值更知三國物象

| 1 日本 | 1 日本

が瞬間を 

※ ないできる びかられる 理事務所

きゆる が

四、銓

ME C

りもして魏延は堡を振ったる

ない。

生産戦は増産だ増産だ 必勝への貯蓄 銃後の勉めた 株式投資

ョ 東京爆撃にある、アラスカが其際の基 地となるだらう わが艦上爆撃機の急上昇 大きょうごはせたが、わが本土に最も近いアリューシャンに 大きょうごはせたが、わが本土に最も近いアリューシャンに は、我関南電影家の精異が騙として厳鬱の観りに歌いで居る 北海の第一線に延身するこの将 「「「「「「「」」」
 「「」」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「」

 「「」

 「「」

 「」

 「

 「「

 「「

 「

 「

 「

 「

 「

 「

 「

 「

 「 山本源作商店 口島染黑 新道四選 公糸太太即選 子路郎郎郎也 代表证据②五一九一省 野妖を 一般である 一般である 一般である かが かの海上に かが のの海上に 株式會社和 即城·網路 一十六日午後一路 開公日-世 場劇陸大 爾七七三屆四川許省董商 断治明城京 信

橘琴瀧水井石

**八野慶南知事** 增産激勵行脚 朝取一般取引

【釜山】殿力増四の増産開保に翌

祭城舞金字

年前六時の植田工場を成切りに開 で朝幼工場へと西談戦士を政助し

指導者の不注意

山 (松炭油増産) 晋州府内 (松) 加中村曜山 (鎌山戦士激動) 文 油增盛)圍城(城阜堆贮增產) 炭油增盛)▲廿日四川圓(松炭

もとより吐竜に対一天動勢作家によって蛇後撃生の本いふ不祥事を起し | 緊急側別男間中者異葛に掌ておき

夏添飯焼卵間中各県後に於ては夫一館を見せんとするとき今回の撤事

て藤井京畿道場新訳

眞に遺憾…藤井學務課長談

の選示しい根壁なのだ、飲を雖る、飯の増配として造成される、数一線一線一二三元配力

やかしながら、眼界の諸大府守 い、から順き文かう配合を破

記えなか の 脱色さ

のた孔明

日時…八月廿二日(日)午後 會場--京城府民館大講堂

日間終を登録込んである

世界大戦争の現段階と最終段階

陸軍少將 金 子 定

中原 花篇

水陽

腴海

雅車

**幽雲下の府民 | 門を助し終三位は一物足りずの工** 

Ħ

新日

原地である。なほ。実践すられた

。年十憤悲、ふ攫家書讀

く覗を館書圖府本の月七

既認能人はな 何から崩けい

マグノール錠で

しませうノ

「のみ越く倒作用がない」

構に流出する、

野村設券發京城支店